

# 平成24年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

浅間台地域ケアプラザ

## 2 事業報告

### 地域の現状と課題について

地域の高齢化率が高く、独居、高齢者世帯が多くなってきています。山坂が多く、歩行困難になると外出する機会が減ってしまいます。また古くから住んでいる住民と新しく転入してきた住民とのネットワーク作りが課題となっているため、プラザとしては様々な事業、交流を通じてネットワークの構築を目指し活動してきました。

### 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

高齢者や地域住民が定期的に利用する施設として、安全・安心に利用出来るよう、諸設備の定期点検、定期清掃を行ってきました。また快適に利用出来るよう職員の意識の向上にも努めながら維持管理をしてきました。

#### イ 効率的な運営への取組について

光熱費、事務費など常に無駄がないか点検し、効率的に運営できるように努めてきました。労務・経理は法人本部と連携を図り、事務の効率化を進めました。

#### ウ 苦情受付体制について

利用者から苦情があった場合は、マニュアルに基づき、迅速かつ適切に対応してきました。また法人としても第三者委員会を設け、職員間でも苦情内容に基づき、業務の振り返りや見直しを行い、改善に努めました。

苦情担当者は必要に応じて苦情調査検討委員会を開催し、事実関係や改善策を検討してきました。その結果は速やかに利用者に説明する体制としました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

ケアプラザ・養護・特養の3施設が、消防計画及び火災対策マニュアルに基づき、迅速かつ適切に対応出来るよう定期的に消防訓練を実施しました。また災害時における特別避難場所として物資の維持・管理に努めてきました。

災害ボランティアネットワークにも定期的に参加し、地域と連携して防災対策に取り組みました。必要に応じて地域の防災訓練にも参加しました。

#### オ 事故防止への取組について

安全対策については、ハード面で常に危険がないか管理をしてきました。また事故の危険を事前に察知し、ヒヤリハット報告提出を義務付け、情報を共有していくようにしました。

事故防止委員会を設置し、必要時開催をしてきました。そこで事例検討を行いリスクマネジメントの意識向上に努めました。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報保護に関する法令等を遵守し、個人の権利利益を損害することのないよう、個人情報を適切に取り扱いました。

定期的に研修会を実施し、個人情報の取り扱いについて確認を行い、研修終了後は誓約書を市へ提出しました。またハード面でも、個人情報は施錠出来る書庫にしまうなど、保護を徹底して行いました。

#### キ 情報公開への取組について

介護サービス情報公開制度に基づき積極的に応じてきました。  
法人のホームページを活用して常に情報をオープンにしてきました。

#### ク 環境等への配慮及び取組について

シックハウス症候群、科学物質過敏症の対策として公共建築物シックハウス対策ガイドラインに基づき、日々喚起を行い、工事の際には、必要な対策を取るなど対応してきました。

また節電・節水を職員間で共有し実施しました。車両は出来るだけ利用せず、徒歩・自転車を使用しました。

## 介護保険事業

### 介護予防支援事業

#### 職員体制

看護師	1名	主任ケアマネジャー	1名
社会福祉士	1名	介護支援専門員	1名

#### 目標

高齢者の生活機能維持・向上のためにケアプランを作成し、適切にケアマネジメントを行い、定期的にモニタリングをし、その都度プランの見直しをして、ご利用者が在宅で生活できるよう支援していきます。

#### 実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）

介護予防支援のマネジメント業務に関して、自己負担なし。

#### その他（特徴的な取組、PR等）

フットワークの軽さをモットーにしていきます。お気軽にご相談下さい。

#### 利用者目標

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
144	142	143	143	143	143
10月	11月	12月	1月	2月	3月
138	136	131	136	132	129

## 居宅介護支援事業

#### 職員体制

管理者（常勤兼務）	1名		
介護支援専門員（常勤専従）	4名	（常勤兼務）	1名

#### 目標

「人権尊重とプライバシーの保護」「質の高い安定した福祉サービスの提供」を理念に、ご利用者ご家族の立場に立った信頼とフットワークで適切な援助を目指します。住み慣れた地域で安心安全に過ごせるようよく相談させていただき、ケアプランを作成いたします。公正・中立な立場で社会資源のネットワークを活用し、ご利用者の自立支援を目指します。

#### 実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）

介護支援専門員が、通常のサービス実施地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合は、その旅費（実費）の負担をお願いすることがあります。

#### その他（特徴的な取組、PR等）

研修・講習会等積極的に実施・参加し、職員の資質向上を図ります。

#### 利用者目標

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
146	149	154	157	151	154
10月	11月	12月	1月	2月	3月
158	157	151	153	153	156

## 通所介護事業

### 提供するサービス内容

入浴  
食事  
レクリエーション・体操・機能訓練

### 実費負担（徴収する項目ごとに記載）

#### 1割負担分

（要介護1）	788円
（要介護2）	915円
（要介護3）	1048円
（要介護4）	1181円
（要介護5）	1313円
食費負担	650円

#### 10月からサービス提供時間変更

事業実施日数 週 7日

提供時間 9:00～16:30 （半角で入力 例9:00～15:00）

### 職員体制

管理者	1名	機能訓練指導員	3名
生活相談員	6名	運転兼業務員	4名
看護職員	3名		
介護職員	17名		

### 目標

介護を必要とする高齢者を対象に、健康チェック・入浴・レクリエーションなどを行い、1日を楽しんでいただくこと

### その他（特徴的な取組、PR等）

おもてなしの心をモットーにしているスタッフが、体操を取り入れたレクリエーションを行っています。

四季折々の花や、みどりに囲まれた落ち着いた環境です。

### 利用者目標（延べ人数）

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
681	693	633	674	598	634
10月	11月	12月	1月	2月	3月
675	641	560	523	564	626

## 介護予防通所介護事業

### 提供するサービス内容

入浴  
レクリエーション・体操  
機能訓練

### 実費負担（徴収する項目ごとに記載）

#### 1割負担分

（要支援1） 2 2 1 3 円  
（要支援2） 4 4 3 2 円  
食費負担 6 5 0 円

事業実施日数 週 7日

提供時間 9：00～16：30 （半角で入力 例9：00～15：00）

### 職員体制

管理者	1名	機能訓練指導員	3名
生活相談員	6名	運転兼業務員	4名
看護職員	3名		
介護職員	17名		

### 目標

自立支援 できることの能力を最大限に活かすお手伝いをします。

### その他（特徴的な取組、PR等）

おもてなしの心をモットーにしているスタッフが、体操を取り入れたレクリエーションを行っています。

四季折々の花や、みどりに囲まれた落ち着いた環境です。

### 利用者目標（契約者数）

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
18	18	18	19	19	16
10月	11月	12月	1月	2月	3月
13	12	12	11	11	11

## 地域ケアプラザ

### 1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

交流や包括の事業や地域に出向いた際など様々な機会を利用して、ケアプラザの相談体制の説明を行いました。また今年度は障害施設との連携を模索し、ケアプラザ祭りを通して連携を強化しました。

### 2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

地域包括とは、介護予防講座や認知症サポーター養成研修等、情報の共有を密に行い、事業を実施しました。また地域の集まりである「シニアクラブ」や「お茶べり会」に地域包括と順番で参加し、福祉保健の情報を伝えました。

### 3 職員体制・育成

職員のスキルアップのため、内部では個人情報保護研修やマナー研修を実施し、職員の育成に努めてきました。また外部の研修にも積極的に参加し、研修報告書においてフィードバックをしています。

### 4 地域福祉のネットワーク構築

昨年に引き続き、連合町内会や民児協、地域団体の会合に努めて参加し連携を強化してきました。さらに単一町内会とも結びつきを深め、浅間台自治会の「お茶べり会」、軽井沢自治会館の「みふゆ会」とは連携を行いました。

### 5 区行政との協働

区のケアプラザ連絡会、コーディネーター連絡会に参加し活動の共有を行ったり、子育て支援やケアプラザ祭りなどで、区行政に担当をお願いし健康講座や高齢者体験をしていただきました。

## 地域活動交流部門

### 1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

地域の会合以外にも出向くことを心掛け、より身近に地域の方からの情報収集に努めました。またケアプラザからの広報誌は年4回発行し情報発信に努めました。その他、協力医による健康講座を高齢者のサロンや子育て支援事業の中で実施し、関節痛や腰痛等の医療情報を発信してもらいました。

### 2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

民児協や老人会の会合において貸室のPRを行い、今年度は新規の貸室利用で「キッズイングリッシュ」の利用が始まっています。また残念ながら夜間の貸室の利用率アップには至っていません。

### 3 自主企画事業

地域からニーズがあった「レッツ！リメイク」「はじめての大正琴教室」「パソコンに親しむ会」、子育て支援の「ひだまり with びすけっと」を新規で開始しました。参加人数はまだ多くありませんが、普段ケアプラザを利用されることのない方々が定着しつつあります。

### 4 ボランティアの育成及びコーディネート

ボランティア交流会を11月に実施し、ボランティア活動の助けになるよう「傾聴講座」を開催し、好評を得ました。

夏休みに高校生のボランティアを受け入れ、高齢・子育て・障がいの事業に参加していただき、その後のボランティア活動に繋げることができました。

また、地域の中から料理に興味のある男性をケアプラザの「ツクタベ会」に誘い、活動へとつなげました。

## 地域包括支援センター

### 1 総合相談

#### 総合相談支援（総合相談）

前年度に引き続き5地区、6地区の民児協に毎月参加し、顔の見える関係を大切に情報発信をしています。更に、地域の民生委員さんを通じ、出前講座の実施例の無いマンションや町内会などにも包括支援センター周知を含め活動しています。

昨年に引き続き月一回の老人会にも参加し、介護予防普及啓発の講師で延べ183名の方と交流をもちプラザとして連携強化をしています。具体的な総合相談の件数も昨年と比べ200件ほど増えています。

#### 総合相談（実態把握）

プラザに来る相談は必ず記録に残し、個別情報を必要時包括全体で共有対応出来るようにしています。昨年、把握した地域課題ニーズを活かし民生委員さんと共同しながら研修会や交流会を企画し実施しました。

### 2 権利擁護

#### 権利擁護（権利擁護）

後見制度に関しては社会福祉士を中心に個別対応し制度活用に繋がったケースが昨年より増えてきています。また、市民後見人制度に関する簡単な情報提供や勉強会なども社内で実施しています。

地域向けには遺言・相続講座や高齢者虐待をテーマに講座を開催し、延べ68名の参加者がありました。

### 権利擁護（高齢者虐待）

高齢者虐待に対する地域向け講座では、具体的に身近で起きていることを事例に上げながら、漫談調の会場一体型で一緒に考えることができる形とし、これまでも6か所で開催したことで延べ59名の参加者がありました。

同時に7月には同内容で介護従事者（支援者）向けの内部勉強会としても実施し、新たな気付きの場として役立てました。

### 権利擁護（認知症）

今年は西区の認知症キャラバンメイトとして4か所の講座協力をしました。対象の年齢や理解度に合わせ、講義方法や内容を変え、認知症を正しく理解してもらえるよう工夫しました。

また、出前講座では高齢者虐待の陰に認知症があることなども伝え、正しい理解と周知に努めました。

## 3 介護予防マネジメント

### 二次予防対象者把握

にこにこしにあセミナーや出前講座で年齢に関係なくチェックリストを実施し、二次予防事業対象者の把握に努めました。結果、二次予防対象者該当よりやや若い年齢からチェックリストに該当する傾向も掴め、今後の地域課題として若年層から取り組む内容検討の指標となりました。

### 介護予防ケアマネジメント力

包括・ケアマネジャー・民生委員がそれぞれの役割が把握できる勉強会を5月に実施し、46名の参加がありました。お互いの役割や実施している事などを知る機会となり、顔の見える関係づくりにも繋がり好評でした。また、ケアマネジャーにはプラザ協力医との意見交換会を1月に予定しており、15名の参加予定者があります。

## 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

### 地域住民、関係機関等との連携推進支援

ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業開始に伴い、包括・ケアマネジャー・民生委員がそれぞれの役割が把握できる勉強会や民生委員向けに認知症サポート医との交流会を実施し、少しでも地域住民が安心して繋がりを感じられるようなサポートがあることを情報発信しました。

また、5地区岡野中学で開催した障害者避難所体験では各関係機関や地域と協働し、障害者に限らず地域の防災に関する意識の把握をする機会となりました。西区災害ボランティアネットワークの定例会や街歩き参加により地域課題の把握に努めました。

### 医療・介護の連携推進支援

認知症サポート医と6地区民生委員との交流会を開催し、27名の参加者がありました。率直な意見交換を通してサポート医の存在や役割、またどのように連携したら良いか確認しました。



## ケアマネジャー支援

5～12月において4包括でケアマネジャースキルアップの為の勉強会を7回実施しました。また、ケアマネ研究会のオブザーバーとして参加し後方支援に努めました。

6地区民生委員とケアマネジャーの交流会を5月に開催し、それぞれの分野を相互理解する中で地域での包括的支援が構築できるよう努めました。1月には新人ケアマネジャーを対象に知識の底上げを目的とした研修を実施予定。また、2月には医療介護の連携に関する研修、介護予防従事者研修を開催予定です。

## 介護予防事業

### 介護予防事業

にこにこしにあセミナーの実施を地域交流事業と重ならない間隔や交流事業が休みのタイミングで参加を見込める形に設定し、内容も歩く姿勢を重視する回と、五感を活用し認知症予防をする回と工夫しました。3カ月をまたぐ期間で1月まで開催しています。様々な趣向を凝らし大枠のみの参加制限とすることで、より地域にあった形を探り、来年度の予防事業に活用できる手がかりにしていきたいと思っています。

## その他

12月に岡野中学1年生に福祉体験教室を実施しました。思春期の多感な頃に、高齢者の疑似体験や車いすの乗車・介助を実際に感じてもらうことが将来の介護者従事者育成や若い世代が地域を振り返るきっかけになったのではないかと思います。

# 平成24年度 自主事業報告書

## 浅間台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サロン「水仙会」	高齢者の自立支援と独居高齢者の安否確認。食事と交流の場・福祉保健に関する情報の提供	毎月第3水曜日 年12回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニサロン「心の散歩道」	高齢者の自立支援と独居高齢者の安否確認。交流の場と福祉保健に関する情報の提供	毎月第4水曜日(3月、8月、12月除く)年9回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援「親子であそぼ！」	子供の健全な育成のための支援と親同士のネットワーク作りの場の提供。親子遊びや集団遊び・絵本の読み聞かせ	0～1.5歳毎月第1水曜日(12回)1.5歳～未入園児毎月第2水曜日(年12回)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
びすけっと	ボランティアの資質向上を図り、「親子であそぼ!」、「ひだまりwithびすけっと」の活動の計画・準備・実施の支援	毎月第1、2水曜日、毎月第3金曜日 年36回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
脳いきいきトレーニング	認知症予防 音読・計算・漢字の書き取り・簡単な体操	毎月第2、4火曜日(8月は除く) 年22回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
給食・配食サービス	地域の独居高齢者等の社会的交流と食生活の改善及び安否確認。調理し会食会を実施。ケアプラザは、調理場提供・配達業務補助を行う。	毎月第1～4金曜日 年48回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
絵手紙教室	同じ趣味をもった仲間同士のネットワーク	毎月第4月曜日(1月、8月、12月を除く)年9回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
さざなみ歌の会	社会的交流・仲間作りの場(閉じこもり防止)カラオケから童謡唱歌までみんなで歌う。	毎月第3木曜日 年12回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
うたの会	社会的交流・仲間作りの場(閉じこもり防止)童謡唱歌などをみんなで歌う。	毎月第1木曜日 年12回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ふみの会	独居高齢者の社会的交流・ボランティア育成。外出できない高齢者に手紙を送り、社会とのつながりの意識付けを図る。「ふみの会」に携わるボランティアの育成	毎月第4金曜日 年12回

# 平成24年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ちょこっとおりがみタイム	認知症予防 簡単な折り紙をつくる。	毎月第2、4火曜日 年24回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援「ひだまりwithびすけっと」	子育て支援ボランティアとケアプラザ職員による子育て支援情報の提供や交流の場の提供。自由遊びや読み聞かせ	毎月第3金曜日 年12回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
エンジョイ！クッキング	認知症予防。簡単な料理を作って、みんなで食べて交流する場	2月～第2月曜日 2回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パソコンに親しむ会	認知症予防。同じ趣味を持つ交流の場	毎月第2、4土曜日 年24回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
もくよう会	転倒防止の為の体力づくりを行うと同時に、閉じこもり防止。転倒骨折予防の発展教室として主に基礎教室終了者を対象とした体操。	毎月第2、4木曜日 (8月を除く)年22回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
虹の会	転倒防止の為の体力づくりを行うと同時に、閉じこもり防止。転倒骨折予防の発展教室として主に基礎教室終了者を対象とした体操。	毎月第2、4木曜日 (8月を除く)年22回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
レッツ！リメイク	自宅で使われなくなった浴衣・着物を再利用して洋服に仕立てる。	毎月第2、4月曜日 年22回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
はじめての大正琴教室	認知症予防と仲間作りの場の提供。大正琴が初心者の教室。講師の指導で親しんでいく。	6/27、7/25、 9/26、10/24、 11/28、1/23、2/27 全7回

## 平成24年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
サロン「水仙会」	高齢者 228人 400円	238443	138843	99600	2222	236221	
ミニサロン 「心の散歩道」	高齢者 43人 200円	9538	938	8600	0	9538	
親子であそぼ！	未入園児・保護者 708人 0円	52872	52872	0	10007	42865	
脳いきいきトレーニング	地域住民 362人 0円	0	0	0	0	0	
ふみの会	高齢者・地域住民 92人 0円	15500	15500	0	0	15500	
さざなみ歌の会	地域住民 85人 200円	26679	9679	17000	26679	0	
うたの会	地域住民 145人 100円	26679	12179	14500	26679	0	
絵手紙教室	地域住民 113人 300円	36695	2795	33900	36695	0	
ちょこっとおりがみタイム	地域住民 175人 0円	0	0	0	0	0	
ひだまりwithびすけっと	未入園児・保護者 195人 0円	40020	40020	0	40020	0	
エンジョイ！クッキング	地域住民 7人 400円	6384	3584	2800	0	6384	
パソコンに親しむ会	地域住民 55人 100円	28901	23401	5500	28901	0	
はじめての大正琴教室	地域住民 29人 300円	18176	9476	8700	0	18176	
レッツ！リメイク	地域住民 136人 作品による	74270	32670	41600	44470	29800	

事業ごとに報告書単表に内容を記載してください。

# 平成24年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：浅間台地域ケアプラザ

平成24年4月1日～平成25年3月31日  
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料収入	15,492	22,712	179	0	0	0	0
	介護保険収入	0	0	0	7,604	31,109	69,220	6,419
	その他	0	0	0	94	1,446	7,479	536
	委託料(地域包括支援センター相談体制強化事業)	0	0	0	0	0	0	0
	経常活動収入(職員等給食費収入他)	0	0	0	94	678	1,578	0
	経常活動収入(利用者等利用料収入・認定調査料他)	0	0	0	0	768	5,703	536
	財務活動等(設備資金借入金元金償還補助金)	0	0	0	0	0	197	0
<b>収入合計(A)</b>	<b>15,492</b>	<b>22,712</b>	<b>179</b>	<b>7,698</b>	<b>32,555</b>	<b>76,699</b>	<b>6,955</b>	
支出	人件費	13,026	19,644	0	0	21,768	58,114	0
	事務費	1,102	823	0	179	676	4,890	0
	事業費	577	496	123	0	70	4,778	0
	管理費	1,968	685	0	0	80	8,987	0
	その他	1,003	451	56	3,936	227	18,782	0
	経常活動(交流事業人件費消費税・予防プラン委託料)	651	0	0	3,936	227	1,150	0
	固定資産取得支出	0	0	0	0	0	2,939	0
指定管理料等返戻金・設備資金借入金元金償還金支出他	352	451	56	0	0	14,693	0	
<b>支出合計(B)</b>	<b>17,676</b>	<b>22,099</b>	<b>179</b>	<b>4,115</b>	<b>22,821</b>	<b>95,551</b>	<b>0</b>	
<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>-2184</b>	<b>613</b>	<b>0</b>	<b>3583</b>	<b>9734</b>	<b>-18852</b>	<b>6955</b>	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。